

『ICT 利用による教育改善研究発表会論文』の見本

< 題 目 >

研究発表者名・所属

共同研究者名・所属

連絡先（住所・TEL・E-mail）

【概要】

日本語（200～250 字）で記述下さい

キーワード：（5つ以内）

1. 教育改善の目的・目標

問題の所在を具体的に明らかにし、アクティブ・ラーニング等による教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、教育の質的転換に向けた ICT 利用による教育改善の具体的な目的・目標及び解決策を研究する意義を明瞭にして下さい。

（例）問題の所在：基礎学力の不足、自ら学び考える主体性の不足、学修意欲の不足、知識の関連付け・思考力不足、教室外学修時間の減少など

（例）研究の目的・目標：知識・技能の定着・活用、思考力・判断力・表現力の獲得、問題発見・課題解決力の向上、実践力の向上、主体性・多様性・協働性の獲得、分野横断対話授業による価値創造力等の向上、学修過程及び学修成果の可視化による成長支援、質を伴った学修時間の増加など

2. 授業概要と教育改善の内容

教育改善の目的・目標を達成するために、ICT を利用して、どのように改善しようとしたのか、改善の内容及び方法を示して下さい。

（1）授業概要

ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関係性、学修到達目標、事前・事後の学修時間数、学修成果の評価方法、配当年次、単位数、クラス数、履修者概数など

（2）改善内容

改善を始めた時期と期間、改善の授業形態（双方向型授業、反転授業、PBL、TBL、事前・事後学修、協働学修など）、改善研究の仕組み（PDCA）や改善で使用するツール、大学組織としての支援の有無など

3. 教育実践による教育効果とその分析

学びが向上した等の教育改善の効果を、データ分析などに基づいて客観的に示して下さい。（できるだけ統計的検定結果を含めて下さい。）

（客観的に改善効果を示すための観点）

以下のような複数の観点から、総合的に教育効果の向上が認められること

※ LMSデータ、ポートフォリオ等の分析、授業アンケート結果の経年変化とその分析、期末テスト等の経年比較とその分析、ルーブリック評価結果の分析、第三者による外部評価の分析、国家試験等の合格者数の経年比較の分析等。

4. 結果の考察

本研究の結果から、ICT の利活用によって教育改善に貢献した要因を考察し、課題や問題点及び今後の発展性、教育の質向上への寄与等について、示して下さい。

5. 謝辞（任意）

企業、学生など研究に協力した人への謝辞は、ここに記載して下さい。

6. 参考文献および関連 URL

以下のように表記下さい。

- [1] 著者：タイトル、論文誌名、**巻番号**（ゴシック体）、ページ番号、年（西暦）
- [2] 著者：タイトル、出版社名、年（西暦）
- [3] ホームページ名あるいは機関名 URL （〔西暦〕年〇月〇日参照）

- ◎ 『発表会論文』は4ページです（図表・写真を含む）
別紙の『発表会論文』のフォーマット記載内容を参照下さい。
※文字フォント、文字数等を記載しています。

- ◎ 発表会論文は、Word ファイルと PDF ファイルの2ファイル共に提出して下さい。